



編集発行所
990 山形市鉄砲町一丁目 15-64
山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
電話 0236-41-3504



嚶鳴同窓会前会長 相澤 榮

退任にあたって感謝を

昭和五十六年十月の総会で高橋政前会長の指名を受け、十二年半に亘って会長の大任を勤めさせていただきました。副会長職を含め二十有余年になります。昭和六十三年に母校創立九十周年の記念式典が華々しく行われましたが、旧校舎の改築が他高校との兼ねあいからのびのびとなり、記念事業のメーンであった嚶鳴会館の建設は平成五年三月に五年おくれでようやく完成されました。これが理由で私の役もすつかり長びいたわけでございます。

就任当初の事務局長さんは木口マサエ先生、次は鈴木雅子先生、そして木村洋子先生、現在栗野絃子先生で四人の先生方はその時々々の母校の動向に沿って、お授業を持ちながらのご多忙の中を会の運営に全力投球をしてくださりました。ほんとうに頭の下がる思いで年月を過ごしました。中でも鈴木先生の時が九十周年の募金活動があらび大変ご苦労をおかけしました。完成されました資料館、嚶鳴会館

は同窓生が級の会場の場として用いた校舎を見学させていただきました。後輩の活動の様子を垣間見るチャンスを与えられ、こうして母校に対する理解が深まってくることと思っております。

同窓会の最大の事業は年に一度の総会でございます。毎年当番の方が一年をかけた計画をたて、恩師・教職員・米寿・喜寿の方々をお招きし厳かに行われますことは嚶鳴ならではの伝統の深さを感じさせると評されておるのでございます。

会長就任にあたって

嚶鳴同窓会新会長 大宮 文子

世情がめまぐるしく変わって行く平成六年、この四月から歴史と伝統に輝く嚶鳴同窓会長の役を委されました。古希も過ぎた年齢ですし、もっと若く清新な会長を望んで固辞しましたが、風の吹き廻りで結局私の所に来てしまいました。副会長は中原えい子様(S・20卒)と堤佳子様(S・35卒)の若く有能な方です。評議員の方々を始め役員の方々、又会員の皆様方はきつと私の不足を補って下さると思っております。又学校当局も同窓会には理解を示されて力強い御支援を下さっていますし、校内理事の先生方も十分にお仕事を下さいますので、そのような点を考

えて敢てお引き受け致しました。よろしくご願ひ申しあげます。

さて、前会長の相澤榮様、副会長の赤間三喜子様、稲村ハナ子様は十二年の長い間、その任を果たされ、その間旧校舎跡地への記念碑建立とか、創立九十周年記念事業では待望のすばらしい嚶鳴会館の建設を完成され、会員一同は勿論学校、在校生一同大変喜んで居ります。在校生のクラブ活動には大いに利用されることでしょう。卒業生の皆様も是非ご覧になってご利用になって下さい。又母校の歴史を飾る資料館の整備にも力を尽くして下さいました。今年の四月五日には第二次対戦中、川崎の

工場に動員中犠牲になられた昭和二十年卒の級友五人と先生一人の五十回忌の慰霊祭を学校と前会長の同窓会主催でしめやかに催しました。その模様はテレビにも放映されました。こうした数々の功績に対してこの紙面をお借りし心から御礼を申し上げます。今後共よろしくご指導の程お願い申し上げます。

私は昭和九年、東京に在住していた関係で東京支部長として同窓会に関わって居りました。上京する前までは母校の教諭として八年間、高校教諭としての掉尾を飾らせていただきました。折にはどうぞ御協力下さいますようお願い致します。

この時の催し物は会員の方々が長年研讀された成果を披露されるならわしでこれも会の誇りとしてるものでございます。

更に東京支部・寒河江西村山支部もそれぞれ特色ある総会を開いておられ、お招きいただいて、いつも会場一ぱいに嚶鳴の雰囲気溢れてその余韻はいつまでも私の心に残って忘れられないものとなっているのでございます。まさに會長眞利に盡きるといふことはこのことをいふのではないのでしょうか。

私の最後の仕事となりましたのは学徒動員戦没者五十回忌追悼法要でございます。当時の先生方や同級生・ご遺族の方々を新しい嚶鳴会館にお迎えし、遂に母校に帰ることのできなかつた六人の方々の法要を行うことができたことでございます。

退任に当たり私の最大の伴侶でありました赤間三喜子・稲村ハナ子副会長さん心から感謝を申し上げます。そして評議員の皆様温かいご協力で御礼を申し上げます。母校・同窓会の更なるご発展を祈念しましてご挨拶いたします。



九十六周年の歴史と伝統に輝く学芸・スポーツの名門、山形西高等学校に赴任できましたことは、私の至上の喜びとするところであります。もとより微力ではありませんが、誠心誠意努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、同窓会の皆様には学校運営に關しまして、深いご理解と多大のご支援を賜り誠にありがとうございますから感謝申し上げます。とりわけ創立九十周年記念事業の嚶鳴会館建設に際しましては、殊のほかご尽力を戴き厚くお礼申し上げます。生徒・教職員は勿論のこと、

ごあいさつ

学校長 大場 文雄

沢山の同窓の方々にも活用いただいているところで、六月には「家庭における学習の仕方」につけて「させよう」という目的で、新入生相互に協調と融和をはからせながら宿泊訓練を実施したところで、色々な修養の場として計画的に活用していく所存であります。

赴任して四ヶ月の方、素直で明るく活潑と学業に取組む生徒の直向きな姿を見るにつけ、天下の西高に奉職できたことの幸をひしひしと感じてきました。同時に、二万一千二百余名の優れた人材を世に送り出してきた嚶鳴の歴史と伝統の重味に責任の

大なることを痛感しているところでもあります。

四月八日、始業式で聞いた初めの校歌斉唱、高き理想は、まなかにひびき、凛々しくそびゆ。蔵山山「透き通った声で高らかに歌いあげる生徒の表情は、西校の清き矜持そのものであります。着任早々、私に与えてくれた最初の大きな感動でもありました。

最近、進路指導の成果(学力の向上や大学合格)は生活指導の充実に掛かっているとよく言われます。生徒が学校生活に充実感を覚えるためには、(1)お互いに爽やかな挨拶を交わすことができ、(2)進んで校舎をきれいにし、(3)校歌を高らかに歌えるようであればならない」という考えから、これまでの学校において基本的な生活習慣の具体的目標として呼びかけてきたが、本校生のそれを見るときに、校歌斉唱は挨拶であり、正に他校の二本であると思うところで、挨拶や清掃も良くなってきました。このような生徒の好ましい生活状況は、それぞれが目指す進路の実現に好影響を与えるものと期待しているところで、

生徒は、同窓の皆様が堂々と築いてこられた嚶鳴の文化をしっかりと受け継ぎ新たな伝統の創造に向けて努力していただいております。終わりになりましたが嚶鳴同窓会の益々のご隆盛と皆様のご健勝を祈念申し上げて、就任の挨拶とさせていただきます。

山形第一高等女学校生徒動員戦没者五十回忌追悼法要

桜前線の近づいて来ていた去る四月五日新しい嚶鳴会館に於いて山形第一高等女学校生徒動員戦没者五十回忌法要が行われました。昭和十六年入学の私共の女学校の生活は戦争一色でした。四年生になった昭和十九年十月には戦時下学徒動員令により川崎市の東京芝浦電気(株)と明治製菓(株)に出動させられました。日本の敗色が濃くなると各地でB29の空爆で焼土と化した二十二年四月十六日夜、川崎空襲で田中先生と同級生の鈴木キヨ子さん荒木禮子さん奥山ふささん熊谷ちよさん小関悦子さんの六名が犠牲者になりました。幾度か年忌の年には法要を行い三十七回忌を長源寺で行いました折最後かと話し合っ居りましたが五十回忌の年が近づきますと誰からもなく法要をしなければと誰かからとなく

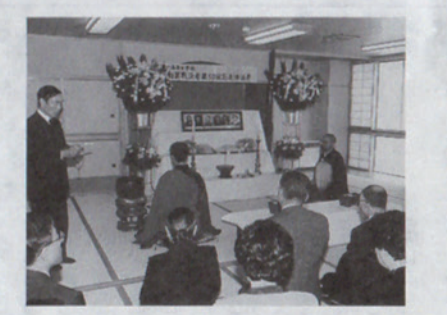
級代表が学校に相談にまいりました所、快く嚶鳴会館で行う事に同意を頂き催す事が出来ました。当日は百五十余名の同級生の内九十五名が出席し、遺族、学校、恩師、同窓会の皆様様の参列を頂き盛大に行うことが出来ました。嚶鳴会館三階和室に設けられた祭壇に田中先生と女学生のままの五名の遺影が並び花が飾られました。長源寺の御住職の読経についで大場文雄校長、恩師の横川先生、同級生代表の加藤智子さんが次々に追悼の言葉をのべられました。五十一年前の動員された時、川崎の工場で働いた日常の生活や空襲の夜焼夷弾のはげしい炎のなかをそれぞれに友人と逃げまどい目の前で倒れこたえた故人の様子などが切々と語られ参列者一同涙がこみあげ深い悲しみと云い様の無い怒りの

わき上がるのを覚えました。六名の遺影は嚶鳴会館に向い合っ建て資料館に飾られ掃除をする生徒さん達が水や菓子などを供えて下さるのを知りました。私達の法要の集まり五十回忌で終わっても西校がつづく限り語り継がれ守られていく事を信じて居ります。

学徒動員にて斃れし友らの五十回忌を新しき校舎に集ひ営む空襲に命断たれし六名の制服の写真祭壇に並べり

祭壇に少女のまま遺影並びに老いづきし吾等香を焼きたり

中原えい子



平成5年度嚶鳴同窓会総会

毎年十一月中旬に開かれる嚶鳴同窓会総会。平成5年度は十四日の日曜日、いつものオーナマホテルに五百余名が集まりました。七五三も近いこの季節は初雪の舞うことも珍しくありませんが、幸い穏やかな日に恵まれてほっと致しました。はじめに相澤会長、沼澤校長よりお言葉を頂いている頃は緊張感が張っており、しかし祝賀式典に入り、稲村副会長が学生時代よりしく喜寿・米寿の先輩方のお名前を点呼口調で読みあげると「ハイ、ハイ」というお元気なお声と共に会場からはどどと笑いの渦がわき上がり、一気に雰囲気は和みました。

十五名の祝賀者を代表して壇上でお話下さいましたのは米寿を迎えられた東京在住の後藤静枝先輩。私は七十年ぶりに山形を訪れましたが、いつもと涼しげに切り出された時は唖然としてしまいました。さすが伝統ある我が母校！

続いてお待ちかねのアトラクションタイムです。今回は日本舞踊の若柳佑次さん(本名・鈴木千佳子さん三三卒)にお願い致しました。佑次さんは六歳より故若柳秀宝師入門、師範として東京で御活躍の多忙の身ながら快く御出演下さり、「新曲浦島」を見せて下さいました。その踊りはさすが相澤会長御推薦とあって息を吞むスマートさ。お召物の色合いから集中心力、めりはりのある動き、すべてが素人目にも素晴らしい、一気に



昭和三十年卒 佐藤伶子

ファンになってしまった人が私も含めて大勢いました。このように一芸に秀でた同窓生を紹介していただけるのも総会の一つの楽しみではないでしょうか？

休憩のあとはいよいよお待ちかねの御馳走が運ばれ祝賀です。乾杯の音頭は横川啓太郎先生が引き受けて下さいました。奇くもこの日は先生のお誕生日だったとか。そして東京支部の賑やかな集いのことや渡部康夫先生の教え子とのふれ合いのお話など、快いピアノのBGMと共に、しばし思い出の世界をさまよいました。締めくくりに校歌は新旧二つ。古い校歌はコピーをとって委員会の度ご練習しました。

当番学年の私達三十、三十一卒は幸せでした。夏から同窓会館を使えるようになったからです。それまでは実行委員会の会場探しに苦労しました。苦労といえは、総会に向けての準備の仕方から事務局長の栗野先生には随分御迷惑をおかけしてしまいました。それで、少しでも当番学年がやり易いようにと、私共は準備の段階からのおよその日程、必要な書類、書式などすべてを総会の写真と共に残す事に致しました。この作業は三十一卒の松浦英子さんがやって下さいました。陰で総会を支えて下さった沢山の方々に深く感謝申し上げます。

平成6年度 東京支部総会

平成6年度の嚶鳴同窓会東京支部総会が、梅雨明けの炎暑の中、七月十日(日)に東京プリンスホテル2F、マクノリアホールにて開催されました。昭和三年卒業の先輩方を筆頭に二八二名の同窓の方々が、元氣なお姿で参加されました。

当日は、御来賓として現西高の相場文雄校長先生、同窓本部会長の大宮文子先生、同窓本部事務局長の栗野敏子先生にご足労いただき、進学校としてがんばっている西高生の様子、部活動やクラス行事にも全力で励んでいる頼もしい姿を紹介していただきました。また、当番学年の恩師である荒木務先生、立川時子(現在結城)先生からは、私たちが高校生活を送った二十年程前の思い出話や、先生方の近況を楽しくうかがいました。お二方ともすでに退職さ

れ、第二の人生を以前にも増して満喫されている様子をうかがい、師として、人生の大先輩として頼もしくうれしく思いました。

久しぶりの校歌斉唱を皮切りに開かれた宴もたけなわになり、昭和三十三年卒の松尾敏子さんによるエンターテイメント「宮沢賢二の小宇宙」(朗読)が始まりました。久しぶりに聞く、東北のなまりや方言をふんだんに使ったその朗読に、ふと山形で過ごした子供時代のあれこれ思い出しながら聞き入りました。奇しくも私たちが当番学年は、松尾さんの卒業年度の頃にこの世に生を受けました。松尾さんの温かみのある深い声に、何故か一人一人がそれぞれの選んだ生き方は、みんな本当に大切なとおもしいものなのだ、と思えました。

昭和五十二年卒業の当番学年である私たちも、中学生から乳幼児の母として、職業人として、専業主婦として、共働きの主婦として、本当に忙しい日々を重ねております。その中で、少ない時間をやりくりし合って無事当日をむかえることができました。会場でお会いしたり、高校時代の頃の愛称で呼びあったり、クラスやクラブでの思い出話に花が咲きました。卒業後十七年間顔を合わせたこともなく、この関東のどこかでそれぞれに懸命に生きてきて、合うなり話し出せる同窓生という縁に、ホッと一息つく思いでした。

最後に、総会を作られ、長く続けてこられた諸先輩の方々、神尾支部長はじめ役員の方々の熱意とご努力、ご助言に感謝いたしますと共に、我が嚶鳴の末永い発展を心よりお祈り申し上げます。

昭和五十二年卒 三浦 泉 佐藤 一枝

同窓生の活躍

「油絵展」開催

サロン・ドートンヌ会員 黒木 普子さん(昭和三十九年卒)

昭和三十九年卒業の黒木普子さん(旧姓石井普子さん)が、この度、帰郷展を開くことになりました。黒木さんは、武蔵野美術大学を卒業され、個展グループ展を数多く開いていらっしゃいます。一九八七年からフランスにお住まいで、一九九二年には、歴史と伝統を誇り、画家の登壇とされるサロン・ドートンヌ会の会員となられました。

その後、年一回、国内各地で個展を開かれるために帰国なさるといふ黒木さんですが、今回山形で油絵展を開催することについて、「少しでも絵描きを目指される方の励みになればとおっしゃっていました。八月三十一日から九月五日までの開催期間は、黒木さんご自身、会場と同窓生の皆様のおいでをお待ちし

「熱三等瑞宝章」受賞

鈴木 芳さん(昭和十四年女師卒)

昭和十四年女子師範卒業の鈴木芳さんが、平成六年春の叙勲で「熱三等瑞宝章」を受けられました。鈴木さんは、太平洋美術連盟主催の美術展においても、「フラメンコ」の踊りと題する作品で入選を果た

昭和五十二年卒業の当番学年である私たちも、中学生から乳幼児の母として、職業人として、専業主婦として、共働きの主婦として、本当に忙しい日々を重ねております。その中で、少ない時間をやりくりし合って無事当日をむかえることができました。会場でお会いしたり、高校時代の頃の愛称で呼びあったり、クラスやクラブでの思い出話に花が咲きました。卒業後十七年間顔を合わせたこともなく、この関東のどこかでそれぞれに懸命に生きてきて、合うなり話し出せる同窓生という縁に、ホッと一息つく思いでした。

第三部、会食と懇親会では、おしいご馳走を頂きながら、川越さん司会により、全員で「故郷」「あざみの歌」を合唱、みんな当時の女子学生気分になり和やかな会場を包み込みました。各地区の余興では、河北地区からはアベマリアの曲をフルート独奏、すばらしい演奏に会場は一瞬音楽会の雰囲気になりました。

ご来賓として、嚶鳴同窓会から新会長の大宮様、前会長の相沢様、事務局から栗野先生のご臨席を賜わり花を供えて頂きました。

佐藤さんの司会により進行、全員で新・旧の校歌斉唱し、ひきつづき竹谷会長挨拶、ご来賓のご挨拶を頂き、第一部の議事に入り、原案どおり可決された後、会長の提唱により今回から、満九十才以上になってご出席された方に花束を贈呈することになり、今年度はお二人いらっしゃいました。

寒河江市の大沼ふじを様(九十七才)に、西川町の古沢千代様(九十才)に、竹谷会長、工藤副会長より花束をお贈り致しました。お二人からはお礼のお言葉を頂きましたが、大変苦くお元気で、お年を感じさせない力強いお声を拝聴し、一同大変感激致しました。

第二部は、慈恵宗管長、布施慶典氏の「藤原氏と慈恵寺との関係について」の講演があり、ユーモアもまじえたすばらしいお話に、実際に慈恵寺の仏像を見ながら聞けたらなおよかったですという思いがしました。

年齢の差はあっても、同じ母校で学んだ同窓の仲間としての意識がみんなを結び、嚶鳴のほこりを感じられた一日でした。

支部総会の様子を紹介し、母校と嚶鳴同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

(当番地区寒河江)

高橋シゲ (昭16師二)
青柳純子 (昭11高女)
延沢わ里 (昭9師二)
五十嵐美江子 (昭21高女)
武田純子 (昭13高女)
林 秋 (昭5師二)
中村とみ (昭8高女)
森谷ゆかり (昭3西)
川崎うめの (昭9高女)
西田百代子 (昭22高女)
室田光江 (昭11高女)
阿部志満子 (昭27南)
奥山きよ (昭13高女)
柏木シウ (昭11高女)
奥山千代 (昭11高女)
村山ひで (昭11高女)
大津きく (昭11女実)
鈴木静枝 (昭10師専)
野口綾子 (昭10高女)
金子こと (昭10高女)
里村文子 (昭10女実)
原田トシ (昭18師二)
貝和キイ (昭18高女)
阿部タカ (昭10高女)
渡辺てる (昭15女師二)
長南好 (昭5師二)
今村郷子 (昭17高女)
神保直子 (昭20高女)
大沢くに (昭6高女)
奥山民子 (昭24高女)
布施キヨエ (昭11高女)
那須寿 (昭4高女)
金子十三子 (昭31高女)
板井澄子 (旧職員)
長岡安太郎 (旧職員)

平成6年度西村山支部総会

第三部、会食と懇親会では、おしいご馳走を頂きながら、川越さん司会により、全員で「故郷」「あざみの歌」を合唱、みんな当時の女子学生気分になり和やかな会場を包み込みました。各地区の余興では、河北地区からはアベマリアの曲をフルート独奏、すばらしい演奏に会場は一瞬音楽会の雰囲気になりました。

ご来賓として、嚶鳴同窓会から新会長の大宮様、前会長の相沢様、事務局から栗野先生のご臨席を賜わり花を供えて頂きました。

佐藤さんの司会により進行、全員で新・旧の校歌斉唱し、ひきつづき竹谷会長挨拶、ご来賓のご挨拶を頂き、第一部の議事に入り、原案どおり可決された後、会長の提唱により今回から、満九十才以上になってご出席された方に花束を贈呈することになり、今年度はお二人いらっしゃいました。

寒河江市の大沼ふじを様(九十七才)に、西川町の古沢千代様(九十才)に、竹谷会長、工藤副会長より花束をお贈り致しました。お二人からはお礼のお言葉を頂きましたが、大変苦くお元気で、お年を感じさせない力強いお声を拝聴し、一同大変感激致しました。

第二部は、慈恵宗管長、布施慶典氏の「藤原氏と慈恵寺との関係について」の講演があり、ユーモアもまじえたすばらしいお話に、実際に慈恵寺の仏像を見ながら聞けたらなおよかったですという思いがしました。

年齢の差はあっても、同じ母校で学んだ同窓の仲間としての意識がみんなを結び、嚶鳴のほこりを感じられた一日でした。

支部総会の様子を紹介し、母校と嚶鳴同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

(当番地区寒河江)

高橋シゲ (昭16師二)
青柳純子 (昭11高女)
延沢わ里 (昭9師二)
五十嵐美江子 (昭21高女)
武田純子 (昭13高女)
林 秋 (昭5師二)
中村とみ (昭8高女)
森谷ゆかり (昭3西)
川崎うめの (昭9高女)
西田百代子 (昭22高女)
室田光江 (昭11高女)
阿部志満子 (昭27南)
奥山きよ (昭13高女)
柏木シウ (昭11高女)
奥山千代 (昭11高女)
村山ひで (昭11高女)
大津きく (昭11女実)
鈴木静枝 (昭10師専)
野口綾子 (昭10高女)
金子こと (昭10高女)
里村文子 (昭10女実)
原田トシ (昭18師二)
貝和キイ (昭18高女)
阿部タカ (昭10高女)
渡辺てる (昭15女師二)
長南好 (昭5師二)
今村郷子 (昭17高女)
神保直子 (昭20高女)
大沢くに (昭6高女)
奥山民子 (昭24高女)
布施キヨエ (昭11高女)
那須寿 (昭4高女)
金子十三子 (昭31高女)
板井澄子 (旧職員)
長岡安太郎 (旧職員)

第三部、会食と懇親会では、おしいご馳走を頂きながら、川越さん司会により、全員で「故郷」「あざみの歌」を合唱、みんな当時の女子学生気分になり和やかな会場を包み込みました。各地区の余興では、河北地区からはアベマリアの曲をフルート独奏、すばらしい演奏に会場は一瞬音楽会の雰囲気になりました。

ご来賓として、嚶鳴同窓会から新会長の大宮様、前会長の相沢様、事務局から栗野先生のご臨席を賜わり花を供えて頂きました。

佐藤さんの司会により進行、全員で新・旧の校歌斉唱し、ひきつづき竹谷会長挨拶、ご来賓のご挨拶を頂き、第一部の議事に入り、原案どおり可決された後、会長の提唱により今回から、満九十才以上になってご出席された方に花束を贈呈することになり、今年度はお二人いらっしゃいました。

寒河江市の大沼ふじを様(九十七才)に、西川町の古沢千代様(九十才)に、竹谷会長、工藤副会長より花束をお贈り致しました。お二人からはお礼のお言葉を頂きましたが、大変苦くお元気で、お年を感じさせない力強いお声を拝聴し、一同大変感激致しました。

第二部は、慈恵宗管長、布施慶典氏の「藤原氏と慈恵寺との関係について」の講演があり、ユーモアもまじえたすばらしいお話に、実際に慈恵寺の仏像を見ながら聞けたらなおよかったですという思いがしました。

年齢の差はあっても、同じ母校で学んだ同窓の仲間としての意識がみんなを結び、嚶鳴のほこりを感じられた一日でした。

支部総会の様子を紹介し、母校と嚶鳴同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

(当番地区寒河江)

平成6年度 総会のお知らせ

とき・11月12日(土) 10:00~

ところ・オーナマホテル (山形市)

会費・5,000円



山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会総会

わがクラス会

昭和十八年入学同期会

終戦を挟み高女時代を過ごした私共は学制改革の為卒業がまちまちでしたので昭和十八年入学同期会とし、五月二十八日快晴に恵まれて...



二七の会平成六年の集い

平成六年のクラス会は五月十六日二時三十分西高前集合で始まりました。卒業後四十二年、初めての母校見学...

職員動向

- 退職 豊(校長・国語) 沼沢 古瀬源三郎(事務局長) 加藤 茂(国語) 伊藤 光弥(理科)...

校内合唱コンクール

後輩たちの活躍 部活動報告

- 平成5年度 40回全国放送コンテスト予選 アナウンス部門3位 2年 佐藤 タチ...

恩師をたずねて

わんぱくガクちゃん 柏倉 学先生

二十数年前にタイムスリップして大きな声とあの笑顔がイメージしながらお伺いしたのは、山形市内の学習塾「わんぱくガクちゃん」...



浦口慶子 清野和子 記

平成5年度経常費決算

1. 収入の部 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

3. 差引残高 (総収入) (総支出) (差引残高) 2,005,854円 - 1,968,114円 = 37,740円

平成6年度経常費予算

1. 収入の部 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2. 支出の部 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(Δ), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

平成5年度基本金決算

1. 収入の部

- 1. 前年度繰越金 8,170,342
2. 総会お祝い 216,000
3. 総会残金 191,315
4. 利子 定期預金利子 201,659 普通預金利子 3,415
5. その他 (寄付、テレフォンカード販売) 122,600

2. 支出の部

- 1. 総会補助 100,000
2. 嚶鳴会館落成祝賀 30,000
3. テレフォンカード 193,260
4. 嚶鳴会館事務室棚 343,400
5. 記念品 (牛置物) 125,145
6. パッチ 236,900
7. 戦没者50回忌法要補助 30,000

3. 差し引き残高

1,058,705円 7,846,626円

平成5年度会務報告

平成5年4月8日 入学式

5月7日 会計監査

18日 第1回評議員会 (於:西高会議室)

26日 嚶鳴会館落成記念祝賀会 (於:パレス平安)

6月23日 会報編集委員会

25日 創立95周年記念式 校内合唱コンクール

7月11日 東京支部総会(於:東京プリンスホテル)

8月10日 第2回評議員会 クラス幹事会

11月14日 同窓会総会 (於:オーヌマホテル)

27日 総会当番幹事引き継ぎ会

平成6年2月24日 第3回評議員会 (於:嚶鳴会館食堂)

3月7日 同窓会入会式

8日 卒業式

平成5年度維持会費納入状況

(1993年4月~1994年3月に納入されたもの)

Table listing membership fees by year (平成元年度 to 平成5年度) and school level (西高, 南高, 女師, 高女). Includes names and amounts.

1993年4月~1994年3月納入分 延192クラス分 384,000円

●校内理事 鈴木 眞 長岡 玲子
●校外理事 小関 和枝 伊藤 和枝 鈴木 眞 長岡 玲子
●会報編集委員 川崎 礼子 青木 智子
玉田 アサ 清野 和子

原稿寄稿のお願い
本会報を飾る同窓生みなさまの活動について、原稿をお寄せいただきたくお願い申し上げます。
クラス会や各賞受賞について、情報、顕著な活動をなさっている学年、クラス、個人の情報など、どんなことでも結構です。よろしくお願致します。

